



発行  
青森県立五所川原  
工業高等学校同窓会  
青森県五所川原市大字湊  
宇船越192  
電話 (0173) 351344 番  
企画 同窓会事務局  
編集 (有)北斗オフセット



# 学校環境の変化に敢えて

同窓会長 (有) 山口 孝美

ゆく川の流れば絶えずして  
しかも、もとの水にあらず。  
同窓会の皆様には日頃より御  
協力を頂き、厚く御礼申し上  
げます。

人を超え、地元はもとより広  
く県内外は勿論のこと、海外  
でも活躍された人がいるなど、  
各分野においても中核的役割  
を担って活躍されております。

高い技術と知識や情熱・考  
え方・強い精神力をもつてす  
ればいかなる未来も明るく開  
けてくるものと確信しており  
ます。

五所川原工業高等学校は、  
昭和38年開校以来、平成24年  
11月10日には創立50周年記念  
式典が盛大に行われ、それか  
らはや6年経過しました。菊  
池誠一初代同窓会長に始まり、  
今は亡き春藤正樹氏、小林保  
美氏、県議会議長も務められ  
た阿部廣悦氏、そして現在私  
が務めさせて頂いております。  
現在卒業生は12,600

と協力しながら対処致します  
ので、宜しく御理解下さい。  
今は亡き春藤正樹氏のお話  
ですが、五所川原工業高校の  
校旗の地の色は何故白いか知  
っているか？。本当は透明  
なんだそうでありますが、白  
んださうです。星の出す光の  
強さでみると、六千度超える  
と白く透明に見えて来る、一  
人一人のこれからの進路はど  
のような色にでもなる、無限  
の可能性も正しく校旗の地  
の色と同じであるとの事を言  
っていました。

「全校一体一大家族」で培われ  
た、お互いを思うやさしい心  
でゆつくりがんばりましょう。  
最後に  
生きていてよかった。  
活かされてきてよかった。  
自分が自分らしく  
いたれたのも  
あなたに逢えたから…。

# 五所川原工業高校同窓会 第一回ボウリング大会

去る6月16日(土)サンサンボウ  
ル(イオンモールつがる柏)に於い  
て、五所川原工業高校同窓会第一回  
ボウリング大会が開催されました。

この大会は同窓会の活性化を願  
い新たな参加者の掘り起こしを目  
的に須崎秀則(理事E9)が企画し  
たもので、当日は約10名ほどの参  
加者でしたが、先ずは第一歩を踏  
み出し次年度につながればと、来  
年の開催を意気込んでいます。



HP等で告知致しますので、ご参  
加よろしくお願いたします。  
ちなみに今回の順位と得点は、第  
1位M43 藤長徳362点、第2  
位E9 須崎秀則351点、第3位  
M49 小田桐駿介321点、第4位  
T13 小鹿早苗310点以上抜粋。



# 今日から、明日へ… 関東支部長 (有) 江良 実 「精神は継承される」

関東地方は、6月29日に梅  
雨明けしました。6月の梅雨  
明けは1951年の統計開始  
以降初めての事だそうです。  
これまで最も早く梅雨が明け  
たのは2001年7月1日で  
した。同窓会関東支部の総会  
・親睦会・新入支部員歓迎会は  
毎年6月の最終日曜日と決め  
ています。梅雨の最中ですが  
今年には好天に恵まれこの春に  
就職・進学した新卒者(52回  
生)15名を新たに新入支部員  
として迎え入れ6月24日(日)  
に多くの支部員・関係者に出  
席いただき無事終える事が出  
来ました。次代の総会への若  
者の取り込みは、どこかの会  
も苦労している現状ですがい

つの日かたくさんの若い人た  
ちが参加して頂けるように一  
丸となって活動しているところ  
です。母校で学び培ってき  
た技術をそれぞれの企業で大  
いに活かし、日本の発展に貢  
献されてきた諸先輩から後輩  
に技術が継承され、そして今  
度は後輩陣がその技術を若人  
に継承していく、関東支部も  
同様にその精神を継承するよ  
うに努力してまいります。

森県人会が創立70周年、東京  
青森県高校同窓会連合会(高  
窓連)が創立20周年と節目を  
迎え、ほかに友好高校同窓会  
や友好団体にも同窓会関東支  
部から代表者が出席して親睦  
を深めています。7月には高  
窓連主催のボウリング大会、  
9月30日にはパーベキュー大  
会(昭和三十九年記念公園)があり  
ます。皆さんの参加をお待  
ちしておりますのでご一報お  
願いたします。併せて今後とも  
尚一層のご協力とご支援をお  
願いたします。

関東支部にすっかり定着し  
た輪番制「東地区(千葉・茨  
城) 西北地区(東京・埼玉)  
南地区(神奈川)」の地区交  
歓会は、昨年10月は西北地区  
担当による「小江戸・川越め  
ぐり!」でした。2回生から

18回生までの20名程度で和気  
あいあい楽しく過ごし、締め  
はやはり居酒屋で一杯です。  
今年10月に東地区担当で  
「加曾利貝塚をめぐる旅」を  
予定しております。このほか  
有志でつくる悠湯山会では、  
春・夏・秋の山登りや新春・  
年末の街歩きなどで楽しんで  
います。山では各自料理振  
らした食材を持ち込み料理しま  
す。自然の中で食するせいか  
同じ料理でも美味しさが何倍  
にも感じられます。

同窓会関東支部  
支部長 江良 実  
(高窓連会計兼務)



# 「赴任にあたって」

教頭 津島 節

同窓生の皆様におかれまし  
ては、平素より本校の教育活  
動に多大な御支援、御協力を  
賜りまして誠にありがとうございます。

みなさん、そしてPTAの保  
護者の方々と接してみても、当  
初の不安が吹き飛んでしま  
いました。  
明るく元気で純朴な生徒、  
明るく元気で楽しい先生方、  
そして生徒のため、学校のた  
めに一生懸命に活動するPTA  
A保護者の皆様を見て、正に  
これが全校一大家族だと実  
感するとともに、私自身も一  
日も早くこの一員になりたい  
という気持ちでいっぱいにな  
りました。

して最も大事なことであり、  
このことが地域や社会に拓か  
れた学校につながっていくと  
思います。これから開校に向  
けて、様々な課題をクリアし  
ながら準備していくことにな  
ると思いますが、同窓生の皆  
様にも見守っていただければ  
幸いです。

さて私事ですが、平成30年  
4月2日、青森工業高校から  
この五所川原市にある本校に  
赴任して参りました。  
五所川原市も含めて西北地区  
の学校に勤務するのは初めて  
で、不安と期待を抱きながら  
本校の玄関をくぐったのを今  
でも鮮明に覚えています。あ  
れから、早五ヶ月が経ちまし  
たが、本校の生徒・教職員

の急激な減少によって二〇二  
一年度から西北地区統合校と  
して開校します。地域住民の  
方々や、特に母校を愛しむ同  
窓生の皆様におかれましては、  
不安や希望等、複雑な心境だ  
と思えます。統合校の方向性  
はまだ決まっていませんが、  
伝統として引き継ぐべきもの  
は引き継いでいくべきだと考  
えています。例えば「全校一  
体一大家族」の精神こそが引き  
継ぐべきものではないでしょ  
うか。生徒も保護者も先生も  
同じ考え方で目標に向かって  
取り組んでいくことが学校と

結びに、同窓生の皆様の御  
健勝とますますの御活躍を祈  
念するとともに、本校に対す  
るより一層の御支援と御協力  
をお願い申し上げます。赴任  
の御挨拶いたします。

# 五所川原工業高校と 西北地区統合校

校長 三上 浩



6年間に亘った校舎新築工事は、今年3月に終了しました。昨年度行われた旧校舎棟と機械科棟の解体工事が終わり、開校当時の建物はすべてなくなり、OBの職員は寂しい思いをしています。

そんな中、生徒は真新しい校舎で、最新の設備を使い、生き生きと教育活動に励んでいます。

今年5月に中南地区統合校開設準備委員会が行われました。黒石高校と黒石商業高校が統合し、平成32年度に新設校が開校します。本校を含む4校による西北地区統合校よりも1年先行しています。西北地区統合校は本校の校舎を使いますが、中南地区統合も同じく黒石高校の校舎を使います。開設準備委員会では校名等についての検討が行われていました。今年あと3回の委員会を開き、校名・校章・校歌・校訓・制服・教育内容等について検討されます。「黒石」という地名は外



機械科棟



電気科棟



情報技術科棟



電子機械科棟

せない。地域に馴染みのない名前では生徒が集まらない。「黒石高校」のままだと、吸収合併のようになり誤解される。などの意見が出ていました。中南地区が西北地区、上北地区の先鞭をつけることになりま。

新設校は本校の校舎を使い、工業科3学級、普通科2学級の教育活動が行われます。新設校開校の平成33年度には、同じ校舎に本校の2・3年生がいるわけですから、学

# 同窓会総会報告

【本部総会】

7月7日(土)、ホテルサンルート五所川原において平成30年度青森県立五所川原工業高等学校第53回同窓会本部総会と第53回新卒者激励会が開催されました。

はじめに新卒者激励会が行われ、三上浩校長、山口孝夫会長(M3)から6名の新卒者へ励ましの言葉がかけられました。6名の卒業生からは近況報告があり、その後旧3学年を代表して斎藤有里先生(M3担任)、山田寿文先生(R3担任)より励ましの言葉がかけられました。



新卒者激励会

激励会終了後、17時から本部同窓会総会が開催され、山口孝夫会長(M3)より、中京・関東支部総会の状況が報告されました。中京支部においては、現在活動が停止状態であることから、役員代行として支部長代行山口裕也君(M52)、事務局代行田中優也君(R2)を

選任したことを報告しました。各議事の審議では昨年引き続き、柳澤弘幸理事



本部同窓会懇親会

(M12)が議長に選出され、平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業及び予算案等について審議され、満場一致で可決されました。その他の審議において、会員よりホームページの運用や総会の開催についての広告・会報誌についての質問がありました。これについては、事務局より出来るだけ速くホームページの更新を進めること、会報誌については、予算の関係上全会員への配付は困難であることを説明しました。また、ホームページにおいて、会員の方々はクラスの同窓会やイベントの開催の広告に使用できることも説明しました。

総会后18時より、阿部廣悦(M1)顧問の乾杯で懇親会が始まりました。今年度は、須崎理事(E9)が、



中京支部懇親会

新卒者激励会では、近況報告として仕事の大変さや苦労話などが新卒者より報告されました。その後懇親

会が開かれ、山口会長より山口裕也君(M52)を支部長代行に、田中優也君(R27)を事務局代行に指名があり、中京支部を運営していくことが決定しました。



関東支部懇親会

その後、ビル内4階「ワイズ」に場所を改め総会と懇親会が開催されました。参加者は百名程度となり、大盛況でした。総会では江良実支部長(E13)から、これからの本校同窓会関東支部に対する熱い思いが参加者に伝えられ、今後関東支部を盛り上げていくことを決意しました。懇親会では旧担任から出席した新卒者の紹介があり、会の終わりにには出席者全員で校歌を合唱し皆さん明るい中での二次会へと足を運んで行きました。

6月23日の土曜日、中京支部新卒者激励会・懇親会が愛知県名古屋市中区「キャナルプラザ2階チャイナ&ダイニング」にて開催されました。小雨が舞い、例年よりも涼しい同窓会となりました。今年の中京支部同窓会員7名(内新会員5名)、学校及び本部同窓会からは校長、旧機械科担任、旧電子機械科主任、進路指導部主任の4名、そして本部代表の山口孝夫同窓会会長(M3回生)及び事務局1名が参加しました。

新卒者の皆さんの慣れない標準語での勤め先での苦労話や、日々の暮らしについて報告がありました。





**バレーボール 準優勝!!**

平成30年6月2日〜4日  
マニダアリーナ

1回戦	対 八工大二	2-0
2回戦	対 東奥義塾	2-0
3回戦	対 むつ工業	2-0
準決勝	対 青森工業	2-0
決勝	対 弘前工業	0-2

**東北大会出場!!**



**少林寺拳法 第1位!!**

平成30年6月1日〜3日  
十和田市勤労青少年ホーム体育館

男子規定単独演武	第1位	R科	岩崎
	第2位	C科	三上
	第4位	M科	山谷
	第6位	E科	工藤
女子総合	第4位		
女子単独演武	第5位	R科	石澤
	第4位	M科	中村

**東北大会出場 R2 石澤**

**第71回 青森県高校 部活動だより 総体報告**

6月1日(金)から4日月月まで、今年も県内各市町村を会場に第71回青森県高等学校総合体育大会が開催されました。高校総体の主な競技の結果を紹介します。

**部活動だより**

男子 円盤投	第1位	42 m 82	石岡(M科)
女子 ハンマー投	第1位	39 m 39	小島(C科)
男子 1500m	第2位	4分02秒50	宮崎(C科)
女子 三段跳	第2位	11 m 13	野宮(R科)
男子 ハンマー投	第3位	45 m 17	神(C科)
女子 400m	第3位	59秒91	葛西(C科)
女子 800m	第3位	2分18秒41	山内(R科)
女子 円盤投	第3位	34 m 24	石岡(M科)
男子 円盤投	第4位	35 m 33	片山(R科)
男子 ハンマー投	第4位	44 m 20	佐藤(E科)
男子 200m	第5位	22秒06	葛西(E科)
男子 5000m	第5位	15分33秒33	宮崎(C科)

**陸上競技 東北大会出場**

平成30年5月24日〜27日  
青森県総合運動公園陸上競技場

男子 円盤投	第1位	42 m 82	石岡(M科)
女子 ハンマー投	第1位	39 m 39	小島(C科)
男子 1500m	第2位	4分02秒50	宮崎(C科)
女子 三段跳	第2位	11 m 13	野宮(R科)
男子 ハンマー投	第3位	45 m 17	神(C科)
女子 400m	第3位	59秒91	葛西(C科)
女子 800m	第3位	2分18秒41	山内(R科)
女子 円盤投	第3位	34 m 24	石岡(M科)
男子 円盤投	第4位	35 m 33	片山(R科)
男子 ハンマー投	第4位	44 m 20	佐藤(E科)
男子 200m	第5位	22秒06	葛西(E科)
男子 5000m	第5位	15分33秒33	宮崎(C科)



**ウェイトリフティング 優勝!!**

平成30年6月2日〜3日  
柏木農業高校体育館

53kg級 第1位 鎌田 田  
56kg級 第1位 関野 野  
62kg級 第5位 神成 成  
62kg級 第4位 工藤 藤  
69kg級 第1位 世永 永  
77kg級 第2位 高橋 橋  
85kg級 第4位 柳野 野  
94kg級 第2位 山口 口

**優秀選手賞** 世永  
**東北大会出場** 鎌田・関野・世永  
**インターハイ出場** 高橋・山口  
関野・世永

**学校対抗第2位**



**男女21名が 東北大会出場!!**

女子 3000m	第5位	10分32秒19	山内(R科)
女子 砲丸投	第5位	11 m 10	石岡(M科)
男子 砲丸投	第6位	12 m 35	神(C科)
男子 4x400m R	第6位	3分26秒13	北川(E科)
女子 3分26秒13	第6位	3分26秒13	倉水(E科)
女子 200m	第6位	26秒28	葛西(C科)
女子 1500m	第6位	4分47秒65	山内(R科)
女子 4x100m R	第6位	51秒39	野宮(R科)
葛西(C科)奥瀬(E科)藤崎(E科)	第6位	51秒39	野宮(R科)
女子 砲丸投	第6位	10 m 95	小島(C科)
男子 砲丸投	第6位	10 m 95	小島(C科)
男子 砲丸投	第6位	10 m 95	小島(C科)

**ボクシング 学校対抗 第2位**

平成30年6月1日〜4日  
みちぎんドリームタジアム

1部 F級	優勝	秋元 元(R科)
1部 B級	優勝	田中 中(M科)
1部 L級	第2位	八木 木(M科)
1部 W級	第3位	久米 米(R科)
2部 L級	優勝	天久 久(E科)
2部 F級	優勝	長内 内(E科)
女子 L級	優勝	小野 野(E科)
女子 F級	優勝	奥瀬 瀬(C科)

**水泳 400m自由形 第1位**

平成30年6月2日〜3日  
鯉ヶ沢プール

400m自由形	優勝	木村 村(E科)
200m自由形	第2位	木村 村(E科)

学校対抗	第2位	秋元 元
敢闘賞	秋元 元	秋元 元
東北大会出場	秋元・田中・八木・小野寺・奥瀬	秋元・田中
インターハイ出場	秋元・田中	秋元・田中

**バスケットボール部**

1回戦	対七戸	83-69
2回戦	対八工大二	83-69
3回戦	対八工大二	83-69
男子団体	1回戦	97-52

**男子団体**

1回戦	対浪岡	2-10
2回戦	対浪岡	2-10
3回戦	対浪岡	2-10

**女子団体**

1回戦	対浪岡	2-10
2回戦	対浪岡	2-10
3回戦	対浪岡	2-10

**個人男子ダブルス**

1回戦	対浪岡	6-11
2回戦	対浪岡	6-11
3回戦	対浪岡	6-11

**個人女子ダブルス**

1回戦	対浪岡	6-11
2回戦	対浪岡	6-11
3回戦	対浪岡	6-11

**個人男子シングルス**

1回戦	対浪岡	6-11
2回戦	対浪岡	6-11
3回戦	対浪岡	6-11

**個人女子シングルス**

1回戦	対浪岡	6-11
2回戦	対浪岡	6-11
3回戦	対浪岡	6-11

**卓球部**

1回戦	対浪岡	0-3
2回戦	対浪岡	0-3
3回戦	対浪岡	0-3

**男子シングルス**

1回戦	対浪岡	0-3
2回戦	対浪岡	0-3
3回戦	対浪岡	0-3

**女子シングルス**

1回戦	対浪岡	0-3
2回戦	対浪岡	0-3
3回戦	対浪岡	0-3

**男子ダブルス**

1回戦	対浪岡	0-2
2回戦	対浪岡	0-2
3回戦	対浪岡	0-2

**女子ダブルス**

1回戦	対浪岡	0-2
2回戦	対浪岡	0-2
3回戦	対浪岡	0-2